

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

評価項目	I 特異な生態系の生産性が維持されていること。			
評価項目選定理由	世界自然遺産として登録された基準(クライテリア(ix)生態系)である。			
評価案の作成主体	海域ワーキンググループ			
評価年月	2019年●月			
評価対象期間	2012年～2018年（ただし一部のデータは2011年以前のものも使用）			
総評	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>評価値</p> <h1>3.2</h1> <p>注視すべき状態</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>良好</p>  <p>要改善</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>&lt;各モニタリング結果の評価分布&gt;</p>  </div> </div> <p>&lt;注視すべき状態&gt; 一部のモニタリングが未実施であり改善が必要だが、主要なモニタリング結果からは、生態系の生産性に関する大きな問題は認められない。</p>			
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	個別評価	
	1	衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測	○	
	3	アザラシの生息状況の調査	△	
	4	海域の生物相、及び、生息状況(浅海域定期調査)	△	
	5	浅海域における貝類定量調査	△	
	②	アイヌアルジーの生物学的調査	○	
	④	スケトウダラの資源状態の把握と評価(TAC設定に係る調査)	△	
	(基礎情報・参考情報に関するモニタリング項目の実施状況) ○：計画どおり実施、△：一部実施、×：未実施			
	2	海洋観測ブイによる水温の定点観測	○	
	①	航空機、人工衛星等による海水分布状況観測	○	
③	「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握	○		
⑤	スケトウダラ産卵量調査	○		
⑥	トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性	○		

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

<p>評価の理由等</p>	<p>（個別モニタリング項目の評価結果に係る背景、評価の理由のほか、評価プロセス等、評価結果に係る特記事項を簡潔に記載。）</p>
<p>遺産地域の管理施策に関する特記事項・課題等</p>	<p>（評価項目の評価結果に密接に関連する管理施策として、特筆すべき事項があれば記載。また、管理施策の現状等を踏まえた今後の遺産管理上の課題について記載）</p>
<p>今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見</p>	<p>（調査手法等へのコメントではなく、上記課題を踏まえた「遺産地域の管理の方向性」等についての助言等があれば、適宜記載。）</p>

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

評価項目	Ⅱ 海洋生態系と陸上生態系の相互関係が維持されていること。		
評価項目選定理由	世界自然遺産として登録された基準(クライテリア(ix)生態系)である。		
評価案の作成主体	事務局とりまとめ（海域WG、エゾシカ・ヒグマWG、河川工作物AP）		
評価年月	2019年●月		
評価対象期間	2012年～2018年（ただし一部のデータは2011年以前のものも使用）		
総評	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid green; padding: 10px; text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>評価値</p> <h1 style="margin: 0;">4.1</h1> <p>問題のない状態</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>良好</p>  <p>要改善</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>&lt;各モニタリング結果の評価分布&gt;</p>  </div> </div> <p>&lt;問題のない状態&gt;          いずれのモニタリング結果からも良好な状態の維持が示されており、海洋生態系と陸上生態系の相互関係が保たれていると判断できる。</p>		
対応するモニタリング項目とその評価	No.	モニタリング項目	個別評価
	4	海域の生物相、及び、生息状況(浅海域定期調査)	○
	5	浅海域における貝類定量調査	○
	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査	○
	16	知床半島のヒグマ個体群	○
	17	河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング	○
	22	海ワシ類の越冬個体数の調査	○
	⑧	オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング	○
	⑪	シャチの生息状況の調査	○
（基礎情報・参考情報に関するモニタリング項目の実施状況） ○：計画どおり実施、△：一部実施、×：未実施			
⑨	全道での海ワシ類の越冬個体数の調査	○	

長期モニタリング計画 評価項目の評価シート（イメージ）

評価の理由等	<p>（個別モニタリング項目の評価結果に係る背景、評価の理由のほか、評価プロセス等、評価結果に係る特記事項を簡潔に記載。）</p>
遺産地域の管理施策に関する特記事項・課題等	<p>（評価項目の評価結果に密接に関連する管理施策として、特筆すべき事項があれば記載。また、管理施策の現状等を踏まえた今後の遺産管理上の課題について記載）</p>
今後の遺産地域の管理の方向性に関する意見	<p>（調査手法等へのコメントではなく、上記課題を踏まえた「遺産地域の管理の方向性」等についての助言等があれば、適宜記載。）</p>